

メカトロニクス制御技術委員会 (MEC)

第 20 回メカトロニクス制御技術委員会

議事録

【日時】：2018年1月9日（金曜日）13：00～14：30

【会場】：電気学会 第3～5会議室（東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON
ビル8階）

【出席者】

委員長：岩崎 誠(名工大)

委員：熱海武憲(千葉工大)、池田英俊(三菱電機)、内村裕(芝浦工大)、梅村敦史(北見工大)、
残間忠直(千葉大)、島田 明(芝浦工大)、高橋太郎(トヨタ)、辻俊明(埼玉大)、滑川徹(慶
應大)、平田光男(宇都宮大)、藤本博志(東大)、柳原徳久(日立産機)、山口高司(サヨー)、
弓場井一裕(三重大)、涌井伸三(農工大)

幹 事：名取賢二(千葉大)、横倉勇希(長岡技科大)

幹事補佐：新明脩平(慶應大)

オブザーバ：桂誠一郎(慶應大)

【配布資料】

20-0 第20回議事次第

20-1 第19回議事録

20-2-1 メカトロニクス制御技術委員会名簿

20-2-2 メカトロニクス制御技術委員会メーリングリスト

20-8-1 実世界ハプティクスの応用技術に関する協同研究委員会 活動報告

20-8-2 モーションコントロールの高性能化に関する調査専門委員会 活動報告

20-8-3 精密サーボシステムの共通基盤技術調査専門委員会 活動報告

【議事】

1. 前回議事録の確認（資料 20-1）

名取幹事より前回議事録の確認が行われ、承認された。

2. 2017 年度の名簿及びメーリングリストの確認（資料 20-2-1, 20-2-2）

名取幹事より説明があり、パスワードを付加した状態でメーリングリストに送付することで承認された。

3. 自動制御連合講演会の運営委員について

島田委員より下記説明があり、承認された。

- ・ 自動制御連合講演会の運営委員をこれまでメカトロニクス制御技術委員から島田委員が電気学会を代表して務めてこられたが、任期満了のため、新しい委員をアサインする必要がある。これまでの経緯を踏まえ、他技術委員会から着任していただくことにしたい。
- ・ 電気学会にとって自動制御連合講演会に参加することにメリットがないとの声が役員会から出ているようであるが、この場合 IFAC や制御に関する他のコミュニティとの繋がりが無くなってしまうため、運営委員を電気学会から出し続けたほうが良いというのがメカトロニクス制御技術委員会の見解である。
- ・ 電気学会の中でも影響力がある方が委員として入ったほうが良いとの意見が出た。一方、D 部門内で連合講演会に対して様々な意見があるようであることを踏まえ、次期委員は C 部門から出していただくことにした。

4. 産業応用部門大会のシンポジウム提案について

名取幹事よりシンポジウム提案についての下記説明があり、承認された。

- ・ メカトロニクス制御技術委員会では、実世界ハプティクス協同研究委員会、モーションコントロールの高性能化に関する調査専門委員会、精密サーボシステムのための共通基盤技術調査専門委員会の 3 つの委員会構成で運営していく。
- ・ 平成 30 年 8 月の部門大会では、実世界ハプティクス協同研究委員会がシンポジウムを実施する。平成 31 年 3 月の全国大会では、モーションコントロールの高性能化に関する調査専門委員会がシンポジウムを実施することが前回委員会で承認されている。

5. 研究調査運営委員会からの依頼（注目論文の推薦）について

名取幹事より注目論文の推薦依頼について下記説明があり、承認された。

- ・ D 部門のホームページ改革の一環で、注目論文の推薦が行われている。
- ・ メカトロニクス制御技術委員会として、3 本推薦する必要があるため、各傘下委員会か

ら、1本ずつ推薦いただく。

- ・ 上記論文は可能であれば、電気学会会員でなくてもアクセス可能な英文誌もしくは2007年以前の和分子の論文の中から推薦いただく。

6. フォーラムプール金（旧部門資金）について

名取幹事より、メカトロニクス制御技術委員会当該資金が7,000円あり、昨年度と今年度に予算計上している旨、報告いただいた。

7. 産業応用フォーラムについて

名取幹事より産業応用フォーラムの開催について説明があり、下記のように承認された。

- ・ 可能であれば、MATLABを用いた演習と講演をセットで実施する。不可能であれば、演習以外の何等かの基本的なものと講演をセットで実施する。
- ・ 芝浦工業大学の部屋を借りて実施する予定。
- ・ フォーラムでは参加料を徴収するため、大学ライセンスを使用することが契約違反となる可能性がある。Mathworksに島田先生より確認いただく。
- ・ 3月に駆け込みで実施するフォーラムが多いため、夏季に実施するとD部門全体として開催時期のバランスがよくなる。

8. 委員会活動報告（ハプティクス（協）、モーション（調）、精密サーボ（調））

○実世界ハプティクス協同研究委員会について、内村委員から下記報告があった。

- ・ 第5回委員会が平成29年12月12日（14:00～14:30）電気学会本部会議室にて開催された。参加者は7名であった。産総研・神永研究員の招待講演と境野幹事の講演が実施された。
- ・ 平成30年3月に開催されるAMC2018にて2件のOSを実施予定。
- ・ 平成30年3月に開催されるSAMCON2018にて1件のISを実施予定。

○モーションコントロールの高性能化に関する調査専門委員会について、残間委員から下記報告があった。

- ・ 第2回委員会が平成29年12月9日（1:45～13:15）芝浦工業大学芝浦キャンパスにて開催された。参加者は13名であった。その後、メカトロニクス制御研究会（8件）が開催された。
- ・ 平成30年3月に開催されるAMC2018にて委員が関連するOS8件を実施予定。
- ・ 平成30年3月に開催されるSAMCON2018にて1件のSSを実施予定。
- ・ 平成30年7月に開催されるCCC2018にて1件のOSを実施予定。

○精密サーボシステムのための共通基盤技術調査専門委員会について、名取幹事より下記報告があった。

- ・ 精密サーボシステムのための共通基盤技術調査専門委員会が1月に設置された。
- ・ 第1回委員会を1月末～2月に開催予定。
- ・ 第2回委員会はSAMCON2018開催期間中の3月8日に開催予定。
- ・ 平成30年3月に開催されるAMC2018にて1件のSSを実施予定。
- ・ 平成30年3月に開催されるSAMCON2018にて1件のISを実施予定。
- ・ 9月に東京地区にて研究会を実施予定。
- ・ 前委員会「精密サーボシステムの多様性探求（調）」の技術報告を1月4日に電気学会（トヨタ企画）へ提出した

9. 委員の追加について

名取幹事より1月に設置された精密サーボシステムのための共通基盤技術調査専門委員会において、下記委員の追加について説明があり、承認された。

- ・ 東京自働機械製作所 竹内一生氏（会員）
- ・ 三菱電機 斎藤英一氏（会員）

10. その他

優秀論文発表賞授賞式および発表講演会が実施され、東京大学・大西亘氏、埼玉大学・溝口寛人氏より講演が実施された。

【次回以降の日程】

未定。